

いっしょにあそぼ！

- 日 時 11月28日(日) 午前の部 11時～12時 午後の部 1時～2時
- 会 場 ラゾーナ川崎プラザ5F 多目的ホール(504)
- 参加数 午前の部 44組 午後の部 25組
- 対 象 3歳未満の子どもとその家族
- 参加費 無料
- 目 的 家庭的保育者が親子(子どもの対象は3歳未満)にふれあえる場を提供し、いっしょに遊びながら家庭的保育の保育内容や保育室の様子など紹介し、家庭的保育の実際を伝える。

会場・企画

開催が11月下旬なので紅葉のイメージにし落ち葉・木の実・動物達・風船などいっぱい作ろうと作業にかかりました。後日、森のイメージでと企画を出されましたが、ほぼ近いものになったと思います。

(担当 矢内せつこ)



さかなつりコーナー



魚は牛乳パック、竿はチラシを巻いた物に紐、牛乳パックを釣り針の形に切り、アルミ箔を巻いて作った針と、金物を使わずに作りました。小さい子も集中して楽しそうに遊んでいました。針を手でひっかけたり手づかみするお友達もいましたが、それも知恵!!お土産に好きな魚を1つプレゼントしました。入口から正面だったためか、赤ちゃん以外のほとんどの子が参加してくれ、大人にも「かわいい、簡単だから私も作ろう」と大変好評でした。(担当 佐藤素子)

パネルシアター

私達もドキドキしていましたが、遊びにきた可愛い子供達の顔が目に入り嬉しくなり緊張が解けました。

「大きなかぶ」で、かぶが抜けたときの子供達と保護者の方々の歓声。「犬のおまわりさん」で一緒に歌い、パネルを見ている姿。「かくれんぼ」で動物を探してくれる子供達。「シャボン玉」で、どんなシャボン玉がでてくるのか期待して見ているその表情。どれもとても喜んでくれる子供達の反応をみて、私達はとても嬉しかったです。(担当 佐藤成代)



くつろぎコーナー



《赤ちゃんコーナー》ピンクの柔らかい素材のラグを敷き、主にガラガラや手作りの音の出る玩具、フェルト製の玩具人形などを用意。また、ねんねマットも用意して、まだお座りのできない赤ちゃんや眠ってる赤ちゃんに利用していただきました。

《ままごとコーナー》食器棚を兼ねたガスレンジと鍋や食器類、沢山の手作りの食べ物を揃えました。子ども達にはここが一番人気。パパやママも一緒になって楽しんでいらっしゃいました。

《プレーコーナー》はらぺこ青虫や大きなりんごの木と道路のある手作りプレーマット、子ども達の大好きなアンパンマンの的当て、ミニカーや新幹線を沢山用意しました。(担当 遠藤光枝)

つくってあそぼ！コーナー（クリスマス飾り）

クリスマスツリー・ブーツ・天使・マラカス・サンタなどを年齢を考慮し、素材や手法も多岐にわたるよう工夫して準備しました。一つの制作にじっくり取り組む子、製作途中でもう次のものに手を伸ばす子など色々な姿が見られ、どの子も個性的な作品を作り上げていました。ご両親からは「普段一人分の制作材料を準備するのは大変なのでこういう機会があると嬉しい」「家でこういう活動をさせていなかったの、こんなにできるとは知らなかった」



「初めてのクリスマスに子ども自身が作ったものが飾れる」などの感想を頂きました。

(担当 鈴木真弓)

ふれあいコーナー



ふれあいコーナーは、低月齢時向けのタッチケアと体を動かす歌あそびを設定し、それぞれ親子で体験してもらいました。

タッチケアは大人に身をゆだねてくれる月齢のお子さんの参加がほとんどだったこともあり、ゆったりとゆれあいを楽しむことができ、その後は個別に育児の疑問や悩みが飛びだして「にわか相談コーナー」となりました。

体を動かす歌あそびは身構えてしまう子や一斉あそびに抵抗を感じる子もいて楽しい雰囲気作りに苦慮しましたが、保護者からは「こういう簡単なあそびでも喜ぶんですね。」と新たな発見に感心する声も聞かれました。(担当 大森敦子)

粘土であそぼコーナー

小麦粉粘土(気持ち良い粘土)を横浜市の福祉員さんの協力の元に食紅を使って数色用意しました。お子さんと両親が粘土コーナーに来てくれて座って遊び出すとパパの目がとても優しく、お子さんに作ってあげたり、また、パパも一生懸命で、まるでこどもに返った表情で遊んでいたのが印象的でした。補助員の方もボランティアで手伝っていただきました。(担当 和田智子)



紹介コーナー (スライドショー)



川崎市の各福祉員が保育室のアルバムを作成しテーブルの上に並べました。壁には各区ごとの地図や保育の様子を展示しました。各コーナーの体験が終わった保護者が熱心に見入る姿が印象的でした。保育室見学の予約をする保護者もいるほどでした。

家庭的保育の様子を 50 枚の写真がエンドレスでスライドショーも流し、当協議会のパンフレット・リーフレットを配布しました。(担当 相澤春美)

おみやげコーナー

手作りのお土産はどれも身近にあるものを材料に、ひとつひとつ保育の合間にコツコツと作成したアイデアいっぱいのものばかりでした。400個の手作りおもちゃから自分のお気に入りの一つを見つけた時の子どもの笑顔が印象的でした。保護者の方からは作り方に興味があり沢山の質問を受けました。保育者達にも大好評で、保育室用でも喜んで子供達に喜んで遊んでもらえているようでした(担当 夏本恵子)



「いっしょにあそぼ！」開催を終えて

昨年度は横浜で開催した「いっしょにあそぼ！」を今年度は川崎で開催しました。当日はお天気にも恵まれ、会場が川崎駅直結ということもあり予想を上回る親子の参加で大盛況に実施することができました。子どもといっしょにママもパパもそして家庭的保育を知ってほしいという思いをもって準備してきた家庭的保育に携わる保育者たち、参加した人たちそれぞれが楽しい時間を過ごすことができました。

会場に入る時ちょっと不安そうな表情だった子どもたちが、帰っていくときはお土産の手作りおもちゃを手に嬉しそうにニコニコしたお顔で帰っていく、また、もっと遊びたくて「帰りたくない」と泣き出す子どもも・温かい家庭的保育を知って、感じて、楽しんで、満足していただけたことと思います。「いっしょにあそぼ！」を合言葉に今後も開催していきたいです。(セミナー責任者 水嶋)